京城新報

一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

行雲流水 みどり

▲讀者諸君に於ても御承知ならんが近者の東京二六新報の漫畫は却々奇抜にて候ひき勿論未來のことには候へ共曾禰新統監を案山子に譬へ、韓人を鳥に譬し伊藤公は水呑百姓といふ型にて遠くより案山子を眺めながら「何ら一服吸はうか……」と草の上に腰を卸した風体誠に以て余輩の意を得候

▲察する所東京の新聞も硬派の問題としては日糖事件も下火となり、高商問題も略ぼ落着を告げ餘す所は軟派の重大問題たる首無女事件位の所に候へば竝大相撲の始まる迄中つなぎとして統監交迭問題をあしらひ如斯漫畫に迄現はして讀者の感興を喚起せんことに努め居るものならんと存候

▲併し余輩は東京の新聞紙が讀者に對して寄席の演藝的に後の眞打の來る迄中つなぎとして統監交迭問題を種々の形に仕組みて觀覧せしむるの勞に多といたし候も唯其の肝要なる筋書丈は如何なる場合にても滅却せざらんことを希望いたし候、而も中には大分に筋書を滅茶苦茶にする脚色家も有之候やうに見受け候が是等は原作者を侮辱したるものにて其の罪到底赦すべからず候

▲漫畫に就きて思ひ起せしが、兎角此の漫畫程六ケ敷ものは無之候、殊に新聞の漫畫といへば大抵は時事問題の諷刺に候、黑きを黑きとし白きを白きとし、是を是とし非を非と描くやうでは漫畫にはあらず候、既に諷刺なり、故を以て虚無縹緲の間に其の意を寓し、微妙縹緲の裡に其の眞を語らざるべからず候、從つて之が考案者は先天的に飄逸な奇才を有するものかさなくば社會人情の表裏を會得せし所謂酢いも甘いも噛み分けし人たらざるべからず候、手近にいへば都々逸の一つも器用に謠ふ人たらざるべからず候

▲而して此の漫畫ツマリ諷刺畫が社會人心に及ぼす感想は偉大なるものにて決して一割の漫畫として笑つて輕々に附すべきものには非ず候、而已ならず彼の新聞記者が筆を執つて堂々たる論文を草するよりも如何ばかり困難なるやは知れず候、一例を擧れば余輩の知れる東京のある新聞の論説記者の如きは常に嘆聲を漏らし「新聞の論説を書くよりも漫畫を考へるが非常に辛い……」と申し居り候、之れ元より左もあるべきことにして又左あらざるべからざることに候

▲伊藤統監の辭任は喜ぶべきことなれど曾禰副統監の昇任は如何あるべしとは世人の疑問のやうに候、疑問とは他なし、曾禰子で仕事が出來るか又一般の威望は如何あらんかといふにあるが如し、之に對して余輩は答へん、曾禰子は一人で借金の出來る人にあらずして常に有力なる裏書人を要するの人たればなりと（二十六日午後一時半記）

文苑

●琴を聞きて 秋月

床の小琴を取り出でゝ 弾くは悲曲の想夫戀、窓よりもるゝ糸の音は、主の哀れをもたらして、涙にむせびョヽとなく、あはれもいたく深つ瀬に沈める主を思ひて奈吹く風と聞き流し俚謠のふしも面白くかすかになりて我はたゞ、一人木影にたゝずみて月影暗き五月雨に、袂の露をしぼりけり

●獨立國 片々子

僕の知れるヨボ曰く、日本の對韓政策は全体韓國を結局ドウする積りなるか、伊藤公抔の言ふ所を聞くと、韓國を文明に導き將來立派なる獨立國とする也と、全体獨立とは如何なる事なるか、韓人は由來獨立なるものは知らざりき、近來獨立々々と騒ぐも獨立する名稱は最近日本の教ゆる所也、日本は韓人に悪知慧を付けたり、今日の排日思想は日本の蒔き者也と、ヨボの言たりと雖も言ふ所理あり、其間に明解を與ふるの辭に窮したりき、

●百人一首讃替（一） ましゝ女史投

●天智天皇
黄金なすいろにみのりし稲の田に
しら露やどす庵のうるけさ

●持統天皇
春くれて夏の緑のいろふかく
竿にかゝりし六七の蚊帳

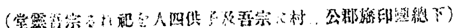
●柿本人麿
足ひかば秋の夕べにかげたわて
なか／＼し夜のひとり淋き

●山邊赤人
樋の浦たゝいてみれば砂はかり
井戸の高輪はくまゐぞふる

●猿丸太夫
れく山に挽木の音のいとたかく
兒童のなきこわ母ぞ戀しき

佐倉宗吾（九十一） 眞龍齋貞水講演

此方は嶋屋の家に、井筒屋五郎兵衛が、子分三人と共に、宗五郎の歸りを待受けてゐる所へ、宗五郎が一生懸命に成つて立歸りましたから、嶋屋源兵衛が 源「公津の旦那樣、よく御戻りに成りました、もう江戸の御客はじめ皆なが此通り御待受けをして居りました 宗「ハア有難うございます、漸う遁れて參りました」宗五郎は蒼白に成つて居る、と云ふのは何しろ、印幡の喜右衛門のため、既の事で捕へられる所を、甚兵衛に助けられたが、其甚兵衛が水中へ飛込んで生命を捨てる、實に哀れとも非道とも謂はれぬ所を遁れて來たのでございますから何うして幾ら偉い宗吾だつて、顔の色の變つてるのは當り前の事であります、今この宗五郎の歸つた聲を聞いて五郎兵衛が 五「サア宗五郎殿どうなさる 宗「直ぐに是から江戸へ立歸ります 五「それぢや若い奴に支度をしろ 宗「先づ源兵衛殿、緩り御話ししたいけれど、右の有樣であるから、何れ後から何とか御便りを致します、もう御陰で妻子に別れを告げて、手當を致して來ました、希か御安心なすつて下さい、道中には少し障りは有りは致しましたけれども、それは後に分りませう」と、オド／＼して居る 源「それでは井筒さん達…… 五「エー嶋屋さん、種々御厄介になりました、一刻も早く役人の眼に止まらぬ内に遁れまする希か爾うなすつて下さいまし 五「此土手を眞直に往つたら遁れるに宜からうと思ひますが 源「イヤそれはいけませぬ、是から先きへ往きますと、切處が二個所はかりございますが、ハア何うも田舎の渡場で、船と云つたつて、一寸くら間に合ひや致しませぬ、其内に役人に追掛けられでも致しますと、大變でございますから、滑川の觀音堂の前を眞直に、上總街道を御遁れに成りますのが、一番宜しうございます 五「左様、それぢや爾うしやう……それぢや御免下せゐ、大きに御厄介に成りました 源「何卒井筒さん道中随分御氣を御注けなすつて」宗五郎は駕籠に乘りながら 宗「嶋屋さん、それでは豫ての御話しの通り、後の所は何卒御願ひ申します 源「エヽ私が引受けましたから、後の事は御心配なさらぬで、御身体を大事になさいまし」と駕籠の側へ寄つて 源「それぢや御機嫌宜しう」と云はれた時に宗吾はポロ／＼涙を流す、御機嫌宜しうとは云ふものゝ、是から江戸へ往つて、將軍樣へ御直訴なさつて、生命を捨てる公津の旦那樣、是が今生の御別れかと思ふと源兵衛何となく胸の所が迫つて來て、ハラ／＼と落涙、後の始末を御願ひ申しますと云つた宗吾も心の中、相互に照し合せて、思はず涙、井筒屋五郎兵衛が 五「サア踏躇／＼してゐる場合でねヘ若い者、緊乎やつてくんな……嶋屋さんッ、御厄介に成りました」サツと降り行く雪の中を一生懸命、井筒屋五郎兵衛は、尻端折つて打込んで、四邊へ眼を配りながら、駕籠脇へ従いてトツ／＼行つて來る、恰度滑川の觀音堂の前まで來ると、向うから役人体の者が參りました、下總佐倉城附六万石にして堀田加賀守は、小身から追々出世遊ばしたから、上總に二万石、房州に三萬石、或は奥州に二萬石と方々に飛領地がございました、其今上總の御領地の方へ對して、出張いたした堀田家の役人が十二三名、目明を伴れて滑川の觀音堂の前まで來たのにパッタリ出會つたから役人が 役「これ待てッ」聲を掛けた 五「へ、何でございます」と五郎兵衛が返辭をすると 役「其方共何れの者だ、吾々は堀田役人である」イヤ宗吾郎駕籠の中で縮み上つた、アヽ危い所を遁れて、是まで來て、又堀田の役人に掴まつたかと、密と駕籠の中から覗いて見ると正しく堀田の役人であります。



（下總國印旛郡公津村に宗吾及子供四人を祀れる宗吾靈堂）

京城新報

●韓國鐵道を如何にすべきか

韓國鐵道を如何にすべきかとの問題は最早古き問題にして、今日之を論ずるは甚だ平凡なるの觀あるも、不幸にして此平凡なる問題は今尚解決せられず、此問題にして解決せられざる以上は韓國鐵道は不具にして到底其發達を遂ぐる能はず、問題は古く平凡なりと雖も韓國經營上最も重大なる問題也。韓國鐵道を如何にすべきかの問題を解決するに就て、先以て考慮すべきことは韓國鐵道を敷設したる目的を推及せざる可らず。其目的たるや無論韓半島を開發すると共に帝國の大陸經營に資する爲なるは今更ら言ふまでもなし、果して斯る大目的の爲に敷設せられたる鐵道なりとせば、些々たる經費の不足を理由として運轉度數を減じ、或は必要なる枝線を敷設する能はざるが如きは明に其目的に反したるものなり。民營時代と異りて鐵道が官營となりては設備整はず、冗員多く、經費のみ增加するに至る、是れ世界を通じて官營一般の弊なりとす、之に相當の改善を施し經費の節減を計る等は當局者の常に意を用ひざるべからざる所也、而れども今に於て官營の非を論ずるも何等の効なし、唯此際講ずべきは最も良き方法によりて改善を加へ以て目的を遂行することを努むるにあり、然らば如何にして可なるべきや、或論者の云へる如く韓國鐵道を南滿鐵道に合併すべきか、余輩は之に同意する能はず、何となれば南滿鐵道と運輸の連絡上に於て早晩合併するの運命を有するも、鐵道經濟の上よりしては合併するも何等益する所なし、南滿鐵道も韓國鐵道と同じく今尚經濟的不具者たり、不具者と不具者と合併し以て經濟を共通にするも其發展は期し得べからず、寧ろ韓國鐵道は鐵道院の所管に移し、祖國の鐵道と經濟を共通にするを可とす、此事に就ては後藤遞相は夙に相當の調査を遂げ一時は其實行を發表せんとしたるも、然るに當時何等かの都合ありて之を中止したりと云ふ。而して近來の形勢を觀察すれば此問題は今や再び持上りて實行の氣運に向ひたるが如く思はる、余輩は此問題が現實となりて速に發表せられんことを希望するもの也、若し夫れ此問題にして實行せられざるに於ては、東洋拓殖會社をして經營せしむるも韓國の開發及帝國の大陸經營の爲め眞に活きたる働きをなさしむるを以て、兩者共に實行せられざるに於ては、不具鐵道として發展に資すること少なし、之れ國家が巨資を投し敷設したる大目的に副ふものならんや。

東京電報

▲競馬關係者の訪問

競馬會社に關係ある岡直彥馬越恭平等は昨日曾禰副統監を訪問せり(二十七日發)

外報一束

●同盟罷工と耕主 布哇日本人同盟罷工は益々擴がり耕主は一般日本人以外の勞働者を傭給にて雇ひ入るゝと共に布哇移民局は歐州に人を派遣し移民を雇ひ入れんとしつゝある由

●土國陸軍と獨逸 獨逸皇帝は墺國駐剳土耳其大使に對しフォン、デル、ゴルツパシャの土國軍隊教頭の復職したることに關して同情を寄せられたり又獨逸將校十四名は土耳其政府より同國の軍隊將官に聘用せられたりと

●波斯政府新借款 露國は多分波斯政府に十萬磅を貸與すべく但し其の使途に就ては十分嚴密なる監督を加ふる筈又英國公使は右金員貸借の目的に就き協議を受けたりと

●英國棉花業不況 英國綿糸貿易の不活潑なる結果耶蘇降臨祭休日は大に延長せられて多分十日間となるべしと

●英國輕氣球正体 數週間以來夜中英國各地の空中に他國の軍用輕氣球出現し大に英人を驚かせしが今や明瞭に解決せられたり右は英國の輕氣球商會が廣告の爲め玩弄品的の輕氣球を飛揚せしめたる者也と

●佛國新艦不成績 佛國戰鬪艦ダントン號の進水式は不結果に了り艦体は四寸四米突滑り行きたる後停止せりと

雜報

●司法官及典獄會議 昨二十七日午前十時より法部樓上に於て倉富次官、渡邊大審院長、國分檢事總長以下各司法官列席し各員の提出に係る事項に就き協議し尙階下別室にて典獄會議を開けり

●被害者と給與金 郡守又は面長等にして暴徒の爲めに慘害を被りたる遺族に對し隆熙三年度に於て弔慰金として預備金中より金一千八百圓を支出する旨昨日の官報を以て公布されたり

●韓國皇室と養蠶 韓國皇后が養蠶に趣味を持たれ蠶室に臨御せらるゝことは先日來の紙上に於て屢々報導せる如くなるが去る二十五日の如きは韓皇及び皇后同行にて蠶室たる芳書閣に臨幸あり係員に對し養蠶に關する種々の下問ありたりと

●派遣隊發着日割 臨時韓國派遣隊一部釜山上陸は來る三十日の朝にして釜山驛發車翌三十一日午前七時二十分、午後一時二十五分の二回に分ち尙後の一部は三十一日釜山上陸、釜山を發する筈六月一日午前七時二十分及び午後一時二十五分なりと

●連山恩津の合併說 忠清南道觀察使管內巡視の結果として、郡衙合併の說起り連山郡は恩津郡と全羅道珍山郡は錦山郡に合併なる說あるより兩郡の住民は行政廳の移轉により將來の不利衰微を杞憂し憲兵分遣所に合併のことなからんことを嘆願し來るもの尠からずと

●滿洲特產物輸出額 昨年四月以降本年三月末日に至る滿一箇年間に於ける滿洲特產物の輸出額は總計六十六万千二百五十六噸一二三に達しなるが其內大豆三十一萬二千七百五十七噸九豆粕廿九萬五百十五噸七三雜穀三萬七千二百二十二噸一三及び雜品二萬七百五十六噸四五也と

●學校教員の退隱料 今般統監府に於ては公立學校又在外指定學校職員退隱料受領者にして日本人會設立小學校の職員に採用せらるゝも府縣立師範學校俸給並に公立學校職員退隱料及扶助料法第七條第二項第一號の所謂公務に就きたるものと認むることを得るに依り退隱料の支給を停止することゝし其旨各理事廳へ向け通牒を發したりと

●漢湖農銀の債券 漢湖農工銀行にては農工債券調製濟に付き本店及び支店出張所に於て假領收證と引替を開始し尙該債券の利子は六月一日より同前の同所にて支拂ふ由

●滿鐵の種子配布 滿鐵會社にては附屬地の風致を添ゆる爲め苗木草花種を各地に配布なしたりと

●露國領事代理赴任 元山駐剳露國領事ミルコフ氏渡日不在中領事代理を命ぜられたる京城露國總領事館飜譯官セシコプレーミ氏は二十五日午前十時四十分南大門發にて赴任したりと

●東拓社員鬱島出張 東拓會社の笠井囑托、八坂屬員は鬱島に於ける土地調査の爲め約三日間の豫定にて昨二十六日同地に出張したり

●隨行員の秘園拜觀 司法官及典獄會議に列せる各司法官及典獄の隨行員は二十六日昌德宮內秘園を拜觀したりと

●配當金受領心得 東拓會社第一期利益金の配當は愈々去る廿四日より東京一銀本店、同大坂支店及一銀韓國總支店の三ヶ所に於て其仕拂を開始したるが受領手續上の注意事項は▲配當金受領證には受取るべき金額及株數を記入し署名捺印すること▲受領證に押捺する印章は豫て同社へ提出したる印鑑と同一のものを使用し若し改印せし者は市區町村長の證明を得て改印屆に印鑑一葉を添へ差出すべき事▲代理人にて受取する時は受領證に委任狀を添付して提出すること▲送金を希望する者は受領證提出と共に其の趣を仕拂店へ申出づれば送附す▲東京一銀本店及同大坂支店取扱の仕拂は七月十日限りとし七月十一日以後は總べて第一銀行京城支店にて仕拂ふも成るべく前期間迄に受取らるべき事

●馬山露國領事退京 豫て入京中なりし馬山露國領事ビシリエーフ氏は二十五日午前八時四十分西大門發列車にて釜山を經歸任したり

●附屬地測量と滿鐵 奉天總督並に吉林巡撫に於て奉天及吉林兩省內に於ける土地鑛山等測量の爲め本年滿曆三月より測量學校卒業生百八十餘名を派遣し吉林省內伊通賓州等より始め順次滿鐵敷地其他鑛山等にも無漏測量するに付き同測量隊保護並に便宜を與へられ度旨淸國官憲より滿鐵會社へ交涉あり同社總裁は之に對して業務の害とならざる限り測量方を承諾し便宜を與ふる旨回答ありたる旨管內一般へ通報を爲したりと

京城漫畫 (其六) 大和町三丁目 白露生

減俸

官制改革

統監更迭

これではたまらぬ……

●京城教育會總會 京城教育會は去る廿五日午後八時より壽町商業會議所樓上にて總會を開きたるが出席者七十餘名幹事より四十一年度會務會計の報告、本年八月開催すべき夏期講習會の件及石塚英三、小宮三保松、宇佐川一正の三氏を本會名譽會員に推薦したりとの報告ありて議題に入り山口太兵衛氏、中村再造氏及本願寺別院は居留地教育草創の際より今日に至るまで教育上の功績顯著なるを以て之を表彰する爲に本會より頌狀を贈呈するの件は滿場一致にて可決次いで同會附屬圖書館開設の件も異議なく可決確定、最後に役員の改選を行ひしが左の諸氏當選したり

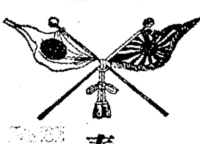
會長 三浦彌五郎 副會長 隈本繁吉 評議員 市原盛宏、本田常吉、本宿家全、雄家充之、荻田悅造、和田常市、中村再造、熊谷賴太郎、隈本有尙、山口太兵衛外數氏

右終つて歐米の禮儀作法風俗等につき隈本有尙氏の趣味ある談話あり終つて餘興に移り午後十一時散會せりと

●大內氏の報告演說 大內代議士は二十六日群山に赴き同日午後七時より民團役所樓上に於て二十五議會に於ける韓國問題の經過に就き報告演說を爲したりと、

●新稅施行の困難 三稅の施行に就きては屢々報道せるが地方人民は之れを知らざる者多く又一方には酒、煙草稅の性質を知らざる爲めに怪訝の念を抱き酒は米又は粟等を以て作るものなり然るに是等の材料は土地より生ずるものにて既に土地に對して稅金を上納せるにも拘はらず再び稅金を課せらるゝことは不當なりと云ふにあるが如しと又煙草も之れと同一の理由を以て不服を唱ふるもの多く戶稅は從來の例もあることなれば不服を唱へず納稅すべき模樣なりといふ

●釜山運輸狀況調査 釜山商業會議所にては輸入貨物運輸狀況調査として一、釜山港輸入貨物中同港揚と通過貨物との比較二、同港主要輸入貨物に對する鐵道及汽船運賃率比較、三通運貨物中釜山商人の取扱にかゝるもの及び然らざるもの比較四、輸入貨物に對する稅關取扱狀況等各項を分つて近々の內より其調査に着手すべしと云ふ



奉祝地久節

●白雲洞殖林試驗場 農商工部にては昨廿七日午後二時より景福宮裏手白雲洞に於ける殖林試驗を觀覽せしむべく韓皇族及び其他官民の重なるものゝ臨場を乞ひたりと

●郡山附近の畑地 群山地方の農事經營者が同地方に於て買收せる畑地の面積は左の如し但し數字は斗落數なり

沃溝郡一、七三四斗臨陂郡五、〇五〇益山郡九、八六〇金堤郡二、七八二萬頃郡二、三五八咸悅郡五〇八金溝郡二七一古阜郡四四八扶安郡一二二泰仁郡一一、一二五全州郡六五二

●公州地方の殖林 忠南觀察使は各郡守に命じて殖林を獎勵し居れるが公州郡守は本月苗種を各面に配布し約千八百株に達せり

●榮羅間道路落成 榮山浦羅州間の里道は兼ねてより改修中なりし處此程全く落成せりと同道路に就ては兩地日本人會及び羅州警察同郡守等が光州木浦間國道の竣成を待つて早くも之れが改修に意あり古屋署長主として盡力せるの結果今や坦々たる大道出來し兩地の交通非常に便になれりと

●全州騎兵隊の引揚 韓國派遣隊交代の結果全州には步兵部隊駐在することゝなりたるにつき全州本部を置きたる騎兵隊は此交代と共に引揚げ來月上旬本國へ歸還の筈なりといふ

●財務署の管轄替 全羅北道財務署中從來礪山財務署の管轄區域たりし益山郡を今回全州財務署の管內に又咸悅財務署の管轄區域たりし龍安郡を礪山財務署の管轄區域に變更したりと

●財務法規類纂 昨紙掲載の度支部編纂財務法規類纂は昨年末既刊のものに係り今回發行せらるゝものは其第一回加除綴(本年四月一日現在)なる由にて該加除綴は八百餘頁にて六月一日より龍山印刷局より發賣すべしと

●救世軍司令官遊說 救世軍司令官ホカード氏は信徒募集の爲め二十五日京畿道長瑞郡地方へ出張したりと

●勞働會本部の移轉 從來中部長橋に本部を置きたる勞働會は今般西部貞洞に其本部を移轉し從來の勞働會出張所は石橋慕華部居朴重煥宅に引越したりと

●米國武官の歸任 在東京米國大使館付武官陸軍中佐アイヨンス氏は二十九日當地出發歸任する筈なりと

●宮城縣人會開會 在京宮城縣出身片平、菊田、古城、莊子の四辯護士發起となり來る三十日(日曜)獎忠壇會六庵に於て春季同縣人大會を催ふす由餘興としては演藝福引旗取角力等ありと因に當日は內部書記官平渡信氏の嚴父(以前仙臺松柏會長)平渡源左衛門氏を招待する由

●北韓漁業の將來 咸鏡道方面の漁業現況に就て同道觀察府にて調査せるものを聞くに目下鏡城在住の兵士及邦人官民は約千三百名にして魚類の需用決して尠少ならざるも韓人の女が南門外の市場に於て販賣せる魚類は鰈の最も大なるものにして價六錢、あいなめ四錢位に過ぎず以て如何に魚族の饒多なるかを察知するに足るべし鏡城を距る一里半の羅南にては目下日本人三十人以上韓人二千餘人淸國人七百餘名居住し猶日々增加の有樣なるが若し本年十月兵營の建築工事竣功し鏡城駐在の兵士は勿論咸南道にある步騎砲の軍隊此所に移住するに於ては羅南の人々は一萬人以上に達すべく從つて魚類の需要頓に激增すべきも幸に羅南日本人にて魚菜市場を經營するに至らず鏡城沿岸十里の漁業は爲に好市場を得茲に强固なる基礎を築けるものと云ふべく將來の發展蓋し刮目して睹るべきものあらんか更に喜ぶべきは淸津敦賀直通航路が愈々日本政府に依て開始せらるべき樣決定したりとし風說是なり若し此が事實として發顯せんか本道沿海の鯛、鰆、鰤等は鮮魚として其他は鹽魚として續々巨額の魚類を京都、大阪、名古屋、東京等に輸出するに至るべし就ては前述の淸津敦賀直通航路の開始の際には是非共其船舶中に二百噸以上の容積を有する冷藏庫を備へしむる必要ありと

●敍任辭令

任檢事敍奏任官四等 青山暢性

公人私人

▲鍋島警部(東京支金庫員) 來京天真樓に投宿中の處二十五日平壤へ
▲中谷淺太郎(春川郵便局長) 同日歸任す
▲有賀光豐(鎭南浦稅關長) 廿五日入京浦尾
▲小島茂(旭川步兵廿八聯隊付步兵中尉) 同上旭館
▲奧田種彥(大邱金融組合理事) 同上山本

近事片々

▲本日は畏くも我皇后陛下の地久節我僑殖民地に在るもの遙に東天を望で祝奉る
▲千代田城內九重の御奧にては文武百官を引て佳節を祝せらる萬民亦歡呼して祝す
▲韓皇后の水原行は韓國にては空前の美擧斯くして皇室と人民との接近最と愛たし
▲水原は風光最も美其模範農場に花卉の幾種類を眼の當り眺めらるは良き御見學
▲新統監親任式の延引するは未だ全く曾禰子と確定せざる爲也との說あり如何にや
▲一說には曾禰子統監となるも統監府吏の更迭及官制改正は斷行せずと云ふ事實乎
▲其理由は此際之を斷行するは韓人をして動搖せしむる恐れあるが爲也とは惜も々々
▲果して之が事實ならば甚だ誤也此際大英斷を以て總て一新し人心を新にするが上策
▲優柔不斷は伊公及日本外交の專賣と思ひしに桂內閣亦此弊に罹るか愛たき事也
▲桂侯たるもの伊公の辭任を機として一刀兩斷的に統監政治を革新するが最も肝要
▲後藤遞相は視察の結果三等客車を改善し冗員三四千人を淘汰せんとは甚だ快心事
▲矢張鐵爵は他迄鐵爵式にてキビ〱したる所あり新開地の牧官として最も恰當也
▲韓國經營統監政治の刷新に鐵爵式の英斷も最も必要新統監の施設何となく心細し
▲李容九一進會々長を辭せんとの報來り之が爲に會員等大に悄氣返り居るとは異乎
▲東京滯在永く計畫は越揮となり二進も三進も動きは取れず其結果は會長の辭任か
▲相棒宋秉畯は如何にせし空しく故國の天を眺めて世界の儘ならぬを喞ち居るべし
▲小村外相病氣重しと聞く此人元來病弱其上ボーツマス談判は慥に壽命を縮めたり
▲ボーツマス談判は彼の落度に非ず一方より云へば桂侯の犧牲になれると云ふも可
▲倫敦タイムス外交記者チロル氏通信員モリソン氏は明日我聖上陛下に謁見すと
▲日本政府は新聞政策に重きを置かず爲に國際關係に面倒を生ずる事あり歎ずべし
▲モリソン博士を憤らしめたるものは霞ケ關也と云ふ今回は御氣嫌を取るに汲々乎

●淸津の近況 淸津港は將來頗る有望の土地なるが今近來の狀況を聞くに由來淸津は韓國中最北端にして古來四邊の交通少く邦人の在住者も僅かに三十戶に…りしが日露の戰役後各所に移住するに至り淸津の開港及羅南軍衙建築に伴ひて入込み來る者多く今や管內に來住せる日本人の數は殆んど五千に達し支那人も約五百名許り…頃は暴徒の襲來殆んどなく又鏡領に在る暴徒も活動する餘勢を存せざるが如し日韓官民間は勿論在留者間にも紛擾等なく至つて平穩無事なるが唯在留日本人中には甚だ…きを以て私腹を肥さんと犯罪せる者多けれども新開地としては當然在り勝のなるが故に其筋にては嚴重に取締りを爲しつゝありと

●武藤事務官の榮任 新任內部書務官武…

●天氣豫報(自廿七日午後六時至廿八日午後六時) 南西の風晴後曇

廿六日 最高溫度(華氏) 六七、一

●清津の近況 清津港は將來頗る有望の土地なるが今近來の状況を聞くに由來清津は韓國中最北端にして古來四週の交通不便なる爲め住民の在住者も僅かに三十戸に過ぎず從つて我日本人の在住するものなかりしが日露の戰役後各所に移住するに至り清津の開港及羅南軍衛建築に伴ひて入込み來る者多く今や管内に來住せる日本人の數は殆んど五千に達し支那人も約五百名許り入込み來れるが其多くは勞働に從事せり近時［…］徒も活動する餘勢を存せざるが如し日韓官民間は勿論在留者間にも紛擾等なく至つて平穩無事なるが唯在留日本人中には是迄各地を轉々して所謂食詰者と爲りたる者の多きは新開地としては當然在り勝のなるが故に其筋にては嚴重に取締りを爲しつゝありと

●武藤事務官の着任 新任內部事務官武藤文吾氏は昨夜着京金列車にて着任せし筈

●大和町の出火

▲全燒三戶▲負傷三名

一昨日午后十時頃大和町二丁目二百三十八番戶居住大分縣平民菓子商畑邊末松方より發火し全燒三戶同三十五分鎭火したるが今其模樣を聞くに發火の原因は同夜九時五十分頃主人末松不在なりしかば妻らく(三十九)は三女千代(三つ)を添乳して入口より左側にある溫突內にて假寢を爲せしに晝間の勞れの爲めについ熟睡せり此時長女のふじの(十三)は店にて火を起し次女みつね(七つ)は側にて之を眺め居たりしに姉妹の子の中間と覺しき邊に釣りありし洋燈に何時しか火が入りて忽ちパッと破裂したればみつねは其儘戶外に飛び出でふじのは火に遮られしも漸くにして逃れたるが其際頭部及顎部其他顏に火傷せり此物音に眼を覺ましたる妻のらくはちよを抱きて出でんとせしも表一方の戶口なれば勢ひ店の間を通らざる可からず然るに店の間はハヤ紙張り天井に燃へ移り黑煙漲りて容易に通路なく只泣喚めくのみなりしが斯くてあるべきに非ざれば命を賭して火の中を潜りヤツト戶外へ飛出でたるが之れが爲めらく及びちよは頭部より脊部胸部さては腰部脚部に至る迄火傷を負ひたり當夜はまだ宵の中さて息宮消防、居留地消防、警官、憲兵其外多數の市民も逸早く駈付け消防に努めしかば火元及び其隣家の空家と其南隣の請負師田中貞次郎の三戶を全燒して鎭火したるが同所は南山町二森勝次氏の所有にて建家損害二百圓末松方被害二百圓田中方損害九十圓なりと尚ほ負傷者は本町六丁目小河病院及植村病院に收容したるが何れも二週間位にて全治の見込なり同所は京城座に接近せる裏手なりしかば俳優杯は扮裝の儘駈出す觀客は吾先にと逃出し一時は中々混雜せしと

●貨幣僞造犯逮捕

▲船中の盜取で足が着く

仁川警察署の日韓刑事は本月初旬來市中に二十錢十錢五錢二錢五分等各種の僞造貨幣を行使するものあるを探知し各方面に手を分ちて僞造犯人の檢擧に勤め居たるが此の程運類四名を逮捕せり今左に其の次第を詳報せん本月中旬沿岸漁船海利丸が海州より仁川に着港したる際船長室の机の中にありたる金三百五圓が何時の間にやら紛失したるより船長は上陸の上直に仁川警察署に屆け出でたり仁川署刑事は直に海利丸に赴き乘客を一々取調べたる處一韓人の擧動頗る怪しきものありたれば的切犯人は此奴ならんと有無を云はせず引き捕ねて取調べたるに鑑定に違はず右三百五圓は此奴の盜みたるものにして**足袋の中に匿し**居たり斯くて尚其の住所氏名を訊問に及びたる所計らずも同人こそは豫ねて貨幣僞造犯として捜査中の者なりしかば意外の捕者を得たるに刑事等は雀躍して之れが取調を進めたる所彼れが所持品中に鉛錫其他の金屬等少なからざりしかば之れこそ貨幣僞造の原料に相違なしとて嚴重取調べたるより同人も遂に包み切れず逐一自白するに至りたるが彼れの姓名及び共犯者の姓名は尚捜查上差閊あるを以て暫く之れを秘し置かんが其の僞造に就ては共犯者七名にて昨年十日頃より江華島にて**電氣を使用**せる完全なる機械を用ひ約韓貨一万兩を僞造し本年一月來海州、永宗島、仁川等にて行使し盛したりと斯くて刑事等が江華島の本據を突きたる際の如き數枚の僞造貨幣を殘し居り將に又新造に着手せんとしたる所を逮捕したるものなりと

●只飲客の袋叩き

▲横着な客と不埒な飲屋

岡山縣吉備郡秦村當時黃金町下宿屋統明館寄宿無職松永淸太郎(三十)は一昨夜旭町一丁目歌舞伎座下手小路(一名地獄谷)飲食店加納さい宅にて午後七時頃より十時頃迄飲酒を爲し其勘定高二圓五十錢を支拂はず暴言を吐きつゝ戶外に出でしとて近所の同業者加藤金太郎及び木室竹五郎等が來りて之を引止め爭論の末遂に淸太郎を叩き伏せしに又もや一二人バラ〳〵と來り袋叩きに爲し居る處へ同町玉川ラムネ製造所の林玉吉なる者通り掛りて仲裁を爲し淸太郎とは一面識なきも憐然なりとて自身で其支拂を引受けて事濟みとなりしが淸太郎は其際兩眼及頬其他に打撲傷並に擦過傷を負ひしかば無念の餘り會洞派出所に訴へ出でしが淸太郎の云ふ處に依れば最初持合せ少なき故五六十錢の處を飲まし吳るゝ樣申置きしに無茶苦茶に肴を持出し遂に二圓五六十錢の勘定に至りしかば止むなく羽織と帽子を提供せんと云ひしに其れも聞き入れず寄り集まつて袋叩きにしたるなりと兎に角金を拂はぬ者も惡しけれども之に向つて暴行を加へる彼れ飲食店主等の行爲も不埒千萬と云ふべし

●南韓の密漁船

韓國諸島嶼及黃海平安兩道沿岸より遠く南韓沿岸に及ぶの間密漁船の襲來しつゝあるは珍らしき事實にあらねど新漁業法發布後の今日之をしも等閑に附する如きは國家の威嚴を損じ個人の利益を侵害せしむる由々敷大事と云ふべし今八口灣玉島居住某の談なりと云ふを聞くに同島を距る七里の某島に根據を構へたる支那密漁船四十餘隻は母船二隻に大砲を積載し他には凡て小銃數多を備へ附け舊三月十四日頃より盛んにヒラ魚の密漁を試みつゝあり若し其附近に韓人漁夫の近くあれば武器を弄して之れを威嚇し密漁の利を壟斷しつゝあり斯く多くの武器を何故に携帶するにやと尋ぬるにソハ暴徒と海賊とに備ふるなりと答ふるもの其實武裝的密漁を目的とするにありと惡むべきかな尚ほ群山方面の近海にも之等密漁船の集合するは航海者の實見する所なりと

紳士の遊興振

◎岡正矣君

統監府鐵道管理局運輸部長の君は愛媛縣出身で日本鐵道會社に養成されたのである、元來日鐵は奇骨曾我祐準子の統率せし處で其部下には風變りの者が隨分多かつた、其風變中尤も著しきは久保扶桑君で彼れは鐵道國有と同時に日鐵重役の椅子を離るゝや瓢然去つて能狂言師となつた、斯かる變物の集合体を統帥せし曾我子爵は一通の心配でなかつたろうだ併し子爵は折花攀柳若しくは紅粉に近づくを好まず否寧ろ非常に遠ざけた、故に部下の者も決して斯かる遊樂は爲なかつた、若し岡君にして外の方面にありしなら餘程の粹人となるべき素質を有し居られしかは知らされど、曾我子の下に養成されし以上は所謂日鐵式の武骨一流に出來上らざるを得ない、內地に於ける君に就ては暫く言はざるも君が京城に赴任以來は鐵道と云ふ商賣柄に對して時々宴會も催さる樣子だ、併し其宴會に際しても自身の武骨は充分御承知と見へて部下の多藝多能の士を以て接待の衝に當らしむるを常として居る、されば君は全く宴會の席の人であつて單獨で浩然の氣を養ふべき遊興は爲ないかと云ふと決して爾らず隨分樓上の人ともなる、而して其遊興振たるや是又全然日鐵式で初めの程は歌も唄はず、洒落も申さずと云ふ調子だが漸く酒氣を催し聊か耳が熱して來ると「ボツ〳〵」演り出すのが例のピンヘツトダンスで「慌てチヤ行けない露助殿滿洲は元より支那の國迄東半島一寸嘗めて……」と跳ね廻る其踊振りつたら恰かもビールの大樽を竪に轉ばす樣な鹽梅である、某老妓曾て曰く出來る事ならビール樽から金線の法被を脫がし、腰の犬殺庖丁を捨てさして勢一ぱい共に苦勞が爲て見たいど……無粹の記者には其理由が解らぬが岡君たるもの此言を聞いて如何の感有りや

次は釘本藤次郎君

●朝鮮船の顚覆

去る廿四日午後二時半頃三隻の韓船何れも籾殼を積みて群山港より對岸なる忠清南道に向はんとて海岸を沖合に約三百間を離れたる頃中一隻は搭載量以上に籾殼を積み込みたるため折柄の風浪に操縦の自由を失ひ遂に顚覆乘組みの韓人船子八名は怒濤の間に呑込まれたる珍事に群山警察署よりは佐々木部長其他直ちに出張日勢群山兩組の仲仕等必死となりて救助に盡力したるため陷沒者八名中七名迄は救ひ揚げたるも殘る一名は遂に溺死を遂げたりといふ

●一昨夜の新町 近來の新町遊廓は異に寂寞たるものなるが一昨夜の登樓客を聞くに總數八十七人にして此費消額僅かに四百六十九圓六十四錢其中人に於て第一樓の十五人金に於ては皆春樓の八十九圓が最高

●純良なる牛乳 初夏に向ひたれば食料飲料共に注意すべきは勿論なるが殊に牛乳に付ては一層の注意を要するものあり然るに大和町一丁目平山牧場の牛乳は頗る純良なりとの評判高く安心して飲用するに足ると

●第一樓都路の歸國 新町第一樓本店の尤物都路事竹中マキ(三三)は病氣の爲め昨日限り廢業し本籍京都市上京區狹屋町通押小路下る上白山町二百四十番地へ歸宅す

●今夜の壽座 は昨夜の續き爲朝重太郎にして役割等前日の如し

●公判だより 明二十八日法務院に於て開かるべき公判左の如し
民事(午前十時)一、運送賃金請求上訴人加藤太郎被上訴人富田鶴松二、貸掛代金請求上訴人田淵保太郎被上訴人玉田多三郎三、損害賠償上訴人平楳三郎被上訴人鬼頭兼治郎

▲獸醫の診察▼
患者「……どうも此節夜分に一向眠れませんで……しかも毎日〳〵馬の樣にコキ遣はれる、猿のやうに腹が減る」
醫師「おやア、獸醫の診察を受けたらいゝでしやう」

●韓語獨習

日語	韓語
芥子は、餘り辛くて、喰へません	ケーチヤーヌン、ヌオムー、マイワー、モツ、モクカエツソ
南瓜の味が、宜しい	ホーバキー、マシチヨツタ
市街に、往て、牛蒡を買て來い	チヤーコイ、カー、ウーパク、サー、オナラ
甘藷も、あつたら、共に、買つて來い	カムジヨート、イツコーツン、アオロー、サー、オナラ

平民文庫

投書中傷無用のこと
小便ハ赤御斷り申候

▲淨瑠璃なり俗謠なりの評釋研究會を開きたいと思ふが小僧君一つ施主になつては吳れまいか(源公)▲サア何うも自分では覺束ない様に思はれます一つ貴方に御願ひ致し升(小僧)▲天理教が建國の天地神を祭るツて、ヘン笑はかすねわ、鼬や貉や狸や狐が何んで建國の神様だ、コツ聞きねい、夫れは天理教が神道へ這入つたからだ、神道へ這入るに附いちやア、まさか鼬を神様にして置く事は出來ねい、夫れで空々しく國狹槌尊だの豐斟渟尊だのを擔ぎ出して居る譯さ併し此間議會で長い演說をして侃々諤々とかカン〳〵ノーを踊つたとかいふ當年の志士內藤魯一先生、アレが名古屋で知事樣をしてゐた時は、馬鹿に天理教に凝つてゐたアの位れ疑れば奥の手の蹈も心得て居よう、マア魯一先生に聞いて見るがいゝ(元天理教徒)▲明治町敷島の仲居さんは男でも絶つたのですか郁子さんは此の頃〇〇さんがれ出でなさらんので鬱ぎの虫や赤蛙とはれ氣の毒様れ察し致しますよ(江戸文)▲食度生君の消息如何生は先月一寸顏出し仕た御通知生にて候時候柄だから文庫もれ留守で別に何か御樂みでも(伺上候)▲千里眼君、先日の文苑欄への御投稿給仕の粗匆にて紛失種々詮索致させましたが遂に見當らず恐縮に堪ねません惡しからず(其係)▲貴紙掲載紳士の遊興振りナカ〳〵面白い一日に二人位願いたし而して更にダラシの無い所も願ひたい(依頼子)▲誰れか我々勞働者の爲めに模範的貸長屋を作つて吳れる人は無いかなア(大工)▲韓人町を藥の行商するのに歌みたいなものを唄つて來るのが澤山あるが其聲と來たら堪らない或る韓人は斯う云つた恰然日本人の寢言の樣だと(花軍)▲昔しの人は呪いことを云つたものだ、人は欺くことは出來るが已れを欺くことは出來ぬと實に其通りである盜みを爲た事のあるものは其盜みを爲た動機なり徑路なりを詮索もせずして直ちに餘儀ない事情からだと同情するものだ口にすれば言葉に表れ筆にすれば文の何處かに顯れる者だ自分は自分ながら熟々感心したとがある(八の子)

●南西の風晴後曇
廿六日 最高溫度(華氏)六七、一 最低溫度 五四、五

各種洗濯石鹼 専門製造販賣
用途 陸軍、鐵道、船舶、鐵工、鑛山、水道、諸工業用
京城旭町二丁目（電話九七三番）
朝日石鹼製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●被雇度　年二十五歳身体強健多年農業に經驗あり農場經營者へ雇はれたし市内に確實保證人あり　姓名在社（二五九）
●被雇度　多年寫眞術に從事尤も技術を善くす給料多きを不望至急被雇たし　氏名在社（二六二）
●下女希望　年十九確實なる身元保證人あり堅氣の家に雇れたし　氏名在社（二六五）
●尋人謝金　伊豫松山附近より來る人あれば依賴致度事あり謝金十圓を呈す　氏名在社（二六四）
●里子に遣度　生子一ヶ月乳汁多くある方に預けたし委細面談　氏名在社（　）
●行商募集　男女を問はす古着行商希望の人を求む　旭町一の六　京仁商會
●告西君　旭町三の三四日鮨氏に承合せられたし　（係）
●求職　普通教育有り職業を撰ばず至急雇れたし　氏名在社（二六九）
●募集　裁縫見習生十四歳より十八歳迄一名入用希望者は來談あれ　大和町二の一六八　技藝女塾
●給仕入用　年齢十四五歳の者　本町二丁目　小川勝平事務所（二六八）
●被雇度　年廿五体強中等教育有簿記精通給料多額不望會社商店銀行等被雇たし確實保證人有　氏名在社（二七五）
●被雇度　明治十一年生の人に御願ひ致し度事あり御一報を乞ふ　京城三角町三番地　山内
●被雇度　年二十八身体強健多年建築請負業從事營業主に雇はれたし給料不論確實保證人あり　氏名在社（二七三）
●告中村銀次君　在復業書にて御照會ならすては先方に電話なく通知するに由なし　係

物件部

●貸家　大和町元軍司令部通庭内三百坪西洋二階建廿七坪平家廿四坪電燈電話附會社病院向格安貸又賣度し　氏名在社（二八三）
●氷店賣却　氷店道具一切附屬品共賣却したし御望の方は電話千百八十三番へ
●貸借家　韓人家屋にて人通り繁き横丁にて温突五六間の二階建及平家にても至急借受たし場所太平町北米倉町附近を望む　社内柏木（二七二）
●求地所　大和町附近高燥にして眺望好き二三百坪の地所を格安にて譲受けたし　氏名在社（二七〇）

廣　告

工場新築落成に付當分の間三割引

油物表裝　屏風　額面　掛軸　其他
表具師　（手書き）

夏物大賣出し
廿八日より六月廿日迄大割引販賣仕候間續々御購求あらん事を
衣服類、洋物雜貨、文具、履物類其他何でもあります
龍山元町三丁目銀行西隣
寺岡商店

あの夏物賣出し
五月二十五日より同三十一日まで
一割引
太物 洋反 カヤ 蒲團
おなじみの本町郵便局前
あ 秋山商店
電話九百五番

●京城市内の御注文は遠近に不拘早速持參可仕候●

LAGER-BEER KIRIN

概略營業品目
和洋帳簿　文房具學校用品　巻紙封筒手帳類　帽子洋傘クツ靴　洋服附屬品類　メリヤス類一式　毛布膝掛馬車掛　石鹼香水齒磨類　タオル、ハンカチーフ　手袋沓下袋物類
●地方よりの御注文は代金引換小包にて發送仕候●

正札　一引なし
官衙、陸軍、銀行、會社御用達
京城本町四丁目
池田長兵衛
和洋雜貨卸小賣商
電話二百〇六番

營業科目
活版活字鑄造　石版印刷　木版彫刻　コロタイプ版　寫眞版　銅版　彫刻　製本裝釘
今般日韓圖書印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱致シ左記ノ處ニ新築落成仕候間ノ從前ニ増シ御愛顧之程奉願上候也
日韓印刷株式會社
本社　京城明治町三丁目　電話（三二三番）
東京出張所　東京京橋區南鍋町一ノ十　電話新橋（三九六二番）

桶類
製造大安賣
明治町一丁目横町通
矢野商店

特約販賣自製
大　全　薫
漬物　味噌　醬油　製造元
京城本町五丁目
和洋酒、◎精酢、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣
尙御望に依り商品切手調進仕候
大上商店
（電話二五一番）

卸　小賣
新茶賣出し
京城本町五丁目
富士の里茶舖
電話九九七番

鴨綠江特種木材九州セメント取次販賣
末口一尺八寸以上長さ五間迄其他各種材
京城旭町三丁目
建築業　柴田芝六
電話五六八番

西洋料理
京城壽町二丁目
にしき支店
電話七百二十九番
出前仕候

東京流　席貸　待合
電話一〇二五番

金水舍製ラムネ、ミカン水
一衛生無害ラムネ、ミカン水製造
昨年の通り純良なるラムネ、ミカン水製造販賣仕候間陸續御愛飲を乞ふ
京城大和町二丁目
漢城製藥所長藥劑師　渡邊悅之輔

九州セメント
上等生石灰販賣
京城南山町一丁目　電話三四四番
山村商店
龍山元町二丁目　電話三四八番
中村運送店

會席御料理
本町八丁目
富士見樓

諸傘　印入　提灯類
和洋蠟燭
京城明治町二丁目
大島商店

本店　東京市日本橋區兜町
株式會社第一銀行韓國總支店
電話番號
長第一番　國庫部、發行部、營業課、當直用
第三一一番　國庫部、發行部、營業課用
第三一二番　支配人、調査部、文書課用
第六二二番　用度係、分析所用
第三三三番　臨時建築部用
內地　支店　大阪、兵庫、京都、横濱、名古屋、四日市、下關
出張所　京都、伏見、大阪西區、東京新大阪町
韓國　支店　仁川、木浦、群山、平壤
出張所　釜山、元山、城津、鎭南浦、馬山、鏡城
清國　出張所　安東縣、開城、咸興
右の外内外各地重要なる場所には爲替取引先あり營業事務に關する御用向は當店營業課長に御相談被下度候

懇誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セス）
京城旭町一丁目六十七番戸
辯護士　岡田榮
（電話三九八番）

最上醬油
山十印
寛永五年創業
米國聖路易萬國博覽會名譽最高賞牌受領
千葉縣銚子町
釀造元　岩崎重次郎

韓國一手特約販賣元
京城
三巴酒店
（電話七五三番）

（手書き）新茶調進　井上茂太郎

▲清潔の下宿▼
客室の清潔ご調理の美味ご御扱の懇切ごを特色ごして下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戸横小路（元花屋跡）
かめ屋
▲懇切の下宿▼

統監府御用達　特定御用
衛生的純良牛乳
荒井牧場
電話一〇五六番

統監府御用
諸官衙人力車
荷物荷造及運搬
伊藤組
營業　京城曙町（電話七三番）
本店　同本町三丁目（電話四〇番）

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金　參百萬圓
積立及繰越金　八拾萬圓
京城南大門通
株式會社十八銀行京城支店
（電話四二〇）
本店　長崎市濱町
支店出張所　京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羣山、大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島福江
韓國　日本
其他日本、韓國樞要地及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金
一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢四厘）
長崎貯蓄銀行代理店
（十八銀行京城支店）

日本郵船株式會社
瀛船仁川出帆廣告
電話十番
仁川海岸通
貨物及船客取扱店
郡回漕店
電話三九番

●釜山長崎門司神戶行
山東丸　六月六日午後三時出帆
●大連、芝罘、牛莊行
高砂丸　五月二十七日正午時出帆
●大連、芝罘、牛莊行
山東丸　六月　日前五時出帆
●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行
酒田丸　六月十七日正午出帆
立神丸　五月二十六日午後
御注意　御乗船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金七十五錢▲三ヶ月前金貳圓▲六ヶ月前金四圓▲一ヶ年金七圓五十錢郵税一ヶ月金拾錢
●廣告料　▲五號活字十九字詰一行一回四十錢▲特別廣告五號活字十九字詰一行金五十錢
發行兼編輯人　秋山忠三郎
印刷人　高木久馬太
發行所　京城本町 京城新報社　電話六三番